



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

95.3.27 No. 4166

被災地労働者の闘いを 全力で支援しよう!

「阪神大震災」を契機とした

大反動攻撃を許すな!

本年一月一七日に発生した、「阪神大震災」を契機として、経済的・政治的な大反動攻撃が始まっている。

とりわけ大失業と賃下げの攻撃が決定的に強まっている。

「阪神大震災」を口実とした賃金不払い、大量解雇の嵐は、長田区のケミカルシューズ四五〇社のうち八割以上が全壊・焼失、神戸市のダイエーはパート全員一〇〇〇人の首切りを強行住友ゴムは神戸工場を閉鎖し労働者全員八〇〇人を解雇・配転すると発表、阪神高速道路公団は神戸線の料金係員全員一〇六人を解雇し、加えて一四九人の解雇を強行しようとしているなど、まさに枚挙のいとまがない。

政府行政の切り捨て攻撃

さらに村山政権は、「四月で避難所を整理する」などと、被災地の労働者・家族の生活と生命よりも経済復興優先の方針を打ち出し、行政は「生活保護打ち切り。救護所閉鎖、無料診療追放。避難所で生活していない人には、仮設住宅も配給も権利なし」と非人道的対応に出てくるという事態までが生み出されている。

真価が問われる労働運動!

一瞬にして家を失い、家族を奪われ、職場もなくなった、被災した労働者・家族は、解雇撤回の闘い、休業補償の闘い、雇用

保険を獲得する闘い、賃金未払いに対する闘いに、ギリギリのところから全力で起ち上がっている。

進む労働者の手による救援活動

そしてこの救援活動に、関西労組交流センターは現地に、「震災救援対策本部」を設置し、労働相談、医療活動に全力で決起している。二月五日関西合同労組の結成、そして二月二六日には「被災地雇用保険給付要求

元従軍慰安婦民間基金 構想を断じて許すな!

「民間基金」の「見舞金」によって、「戦後処理」を行なうなどということが許されていいものではない。

侵略戦争責任の居直り・清算に加担する村山政権!

この構想の、何よりも糾弾されなければならないことは、一五年戦争において、日本帝国主義が行なった侵略戦争責任を、「国家」として一片の謝罪すら行なわず、居直り、清算しようとしていることだ。アジア諸国を蹂躪しつつ、二〇〇〇万人とも言われる民衆を虐殺した国家責任を曖昧にし、今また、軍隊慰安婦とされた人々に対し、

「被災地要求者組合」の人々を大事にしながら、この運動を広げ、支援していくことにこそ決定的に重要なものがあると言えます。まさに大失業時代に抗する労働運動の質が大きく問われていると明言出来る。

われわれは労働者の団結と権利を闘いとしていく、力溢れる闘いを創り出していく、その主体とならなければならない!

「民間基金」の「見舞金」によって、「戦後処理」を行なうなどということが許されていいものではない。

アジア民衆の怒りに応えよう!

この「民間基金」構想に対し、一斉にアジア諸国からは抗議の声が噴出し、基金反対と共に、日本政府の公式謝罪、国会での謝罪・不戦決議を求める決議が採択されている。また、国連の人権委員会においても、「戦争犯罪であり犠牲者は補償を求め権利がある」と指摘されているのだ。

戦後の意図的解体策す基金構想

しかしながら村山政権は、従来、「元従軍慰安婦に対する個人補償は行なわない」とする

方針に加担し、その積極的推進を強行せんとしている。「民間基金」構想とは、戦後五〇年問題を踏み台にして、日本とアジア諸国との戦後の関係を清算し、日本の民衆の戦後の意識を解体するという意図をもつてかけられている恐るべき攻撃なのだ。要は、「戦後処理は終わった」との意識に、労働者・民衆を大々的に取り込むこと、この問題を逆手にとり、新たな侵略翼賛運動を起こして、それに労働者・民衆を動員しようとしているのだ。われわれは、アジア民衆と連帯し、戦後五〇年問題を契機とした歴史的攻撃と対決しよう、日本の労働者・民衆の未来をかけた闘いに決起しよう!